

ルイ・デリュック賞 / セザール賞《同時受賞》

カトリーヌ・ドヌーブ ジャン＝ルイ・トランティニャン



あなたはこれでも  
銀行を信用しますか。

この二人に何が起ったのか？



L'ARGENT  
DES AUTRES

銀行

25  
創立25周年記念  
ウイズダム

ジャン＝ルイ・トランティニャン カトリーヌ・ドヌーブ クロード・ブラスール ミッシェル・セロー フランソワ・ベロ  
監督 クリスチャン・ド・シャロンジュ ◆ 製作 ミッシェル・ド・フロカ / アドルフ・ヴィエツィ / アンリ・ラサ ◆ 原作 ナンシー・マークハム ◆ 音楽 バトリス・メストラル  
東宝東和配給 ◆ ウイズダム提供

L'argent  
des autres

# 銀行

## 〈スタッフ〉

監督……………クリスチャン・ド・シャロンジュ  
 製作……………ミッシェル・ド・プロカ  
 アドルフ・ヴィエツィ  
 アンリ・ラサ  
 原作……………ナンシー・マークハム  
 音楽……………パトリス・メストラル  
 撮影……………ジョルジュ・オルセ

## 〈キャスト〉

アンリ・レニエ……………ジャン＝ルイ・トランティニャン  
 セシル・レニエ……………カトリーヌ・ドヌーブ  
 ジュヴァリエ・ダヴァン……………クロード・ブラスール  
 ミルマン……………ミッシェル・セロー  
 ヴァンサン……………フランソワ・ペロ



## プロダクションノート

現実にはフランス社会を騒がせた大事件となったこの映画は、シャロンジュ監督が是非、映画にしたいと原作権を購入、脚本を完成。脚本を書きながら事実調査に二ヶ月かけたという。

この物語は原作者ナンシー・マークハム自身にふりかかった事件を描いたもので、それだけに鮮烈なリアリティに満ちている。監督からこの映画の話聞いたトランティニャンは、四本もあった作品のオファを全て蹴り、この映画の為に賭けた。

一方、トランティニャンの行動を知ったカトリーヌ・ドヌーブは、自ら監督の家に電話を入れ、出演を申し込んだ。彼女の役は原作者自身の姿を反映したという、ドラマ

のキーポイントとなるものだけに監督もキャスティングに苦労している最中であった。ドヌーブの出演は願ってもない事で、すぐ様決定。彼女は撮影現場でも様々に女性なりの意見を言って、このドラマに大きな厚みを与えている。

この為、次作の『夢追い』の撮影が一週間遅れた程である。問題はロケ場所である。銀行は当然冷たく貸してくれない。結局スタジオにフランス有数の銀行の会議室と寸分違わぬ物を建てて撮影された。

銀行が貸してくれなかったのは建物だけではなかった。資金調達も苦しかった。しかし、プロデューサー、監督、スタア達が資金集めに自ら走り、ある機械メーカーがバックアップしてくれる事になり、超大作として完成したのである。

結果、フランスの二大賞に輝き、大ヒットする事で、スポンサーの担当者は大いに鼻を高くしたという。

色彩についてシャロンジュ監督は通常の色彩と違う、独特のカラーで押し通した。これは銀行を舞台とした事件であり、巻き込まれた人々の不安を表すのは絶対に必要な事であり、ライティング、レンズ、フィルター、現像処理等あらゆる面で細心の注意と実験の下で撮影が進行した。

この作品は、アメリカでも上映されたが、アメリカの観客の反応は興行者が想像するものを遥かに超え、急拠、当初のスクリーン数を三倍にした程だった。

## 解説

フランスのルイ・デリュック賞とセザール賞という二大映画賞を同時に授賞した映画「銀行」。

経済会と政界を結ぶどす黒い金の流れと、汚職という社会的な映画作りが、これだけの評価を受けたのであろう。

さすがに公開されるやパリでは各映画館で長蛇の列の大ヒット。マスコミもこの問題を大きく取り上げた。

今回は特別文化交流という事と、東宝東和の配給協力で、ウイズダムが創立二十五周年記念作品として輸入したものである。

銀行合併、汚職問題など現在の日本でも問題になっている事実がリアルに、スクリーンに描かれて見る者を釘づけにする。

監督は、デビュー作でジャン・ヴィゴ賞を授賞した鬼オクリスチャン・ド・シャロンジュ。

主演のジャン＝ルイ・トランティニャンは「男と女」でお馴染みの名優だが、ボーグ誌で毎年男性No.1に選ばれ続けた程の人気の持ち主。この作品でも銀行の若き幹部でありながら汚職と陰謀に巻き込まれ、闘って行くというびつたりの役柄。

そしてトランティニャンを愛し、支えてゆくのがフランスきっての美貌であり、「インドシナ」で大ヒットした大女優、カトリーヌ・ドヌーブである。トランティニャンと実に意気の合った演技と、人妻としての色香はクリスチャン・ド・シャロンジュ監督も大いに満足であったと言う。

次回都内独占  
ロードショー

日比谷・東宝映画街

シャンテシネ1

03  
(3591)  
1511

日・祝 10:30 平日 12:40 2:50 5:00 7:10

特別鑑賞券 1,500円  
好評発売中 (当日一般  
1,800円の処)